

書類番号 : 創研-DB10-200 B

作成日 : 平成22年12月06日

□ 出張報告書
■ 会議議事録

住友精密工業株式会社

件名	部課名	認可	審査	作成
12月度創研部内会議(社外秘)	創事業研究部	高橋		高橋

日 時	H22.11.05(月) 15:00~16:30	場 所	創事業研究部会議室
出席者	八木取締役、川上技師長、高橋支配人、佐藤M、折島M、内田G長、越智M、高祖ラボ長、福井S、高橋(記)		
関連資料	部内会議2010.12.06.doc		
配布先	出席者 x 1、上森次長、庄谷技術主幹		

1. 共通事項

- (1) トリクロロエチレン漏洩事故対応の件: 八木取締役より補足説明有。
 - a. メッキ工場にある脱脂洗浄装置から漏洩。既に設備は腐食・老朽化しており撤去。
 - b. 現在無害化するための施設を建設中。数年単位で水浄化を行って、地下水のトリクレン濃度を規程内にいれる計画
=>当初 2 万 5 千倍の濃度が現状 1/10 程度に低下するも引き続き高濃度。
 - c. トリクレン脱脂から代替脱脂洗浄方法への検討が必要となりつつある。
- (2) 高橋支配人より H22 年度創事業部の事業見込み(上期実績、下期見込み)について説明があった。下記販売達成が必須。合わせて、国内出張、海外出張旅費の抑制、知財予算を含む各経費の抑制必須。
 - a. VGCF の TASC への販売達成
 - b. Beans へのマルチプローブ装置改造案件販売達成
 - c. SOFC 20M 案件の販売達成
- (3) 2011 年度上期起業・補修予算提出期限: 12 月 13 日(月) とりまとめ: 高祖ラボ長

2. 産業機器チーム:

- (1) マルチプローブ描画装置は 11/29 出荷、11/30 搬入・据付、12/8~10 で検収・オペトレを実施予定。
- (2) セミコンジャパンに 12/1~3 出展。会場が狭くなった分、見かけは盛況であったが、出展数は減少傾向にある。

3. SOFC

- (1) コストダウン検討:
 - a. スタルク製セルは国内で製造されるセルよりも安価。(8 万円/枚が 2 万円/枚程度に)
 - b. MCMF コーティングは、印刷または溶射により行い。クロム被毒防止が目的。材ラボで開発している酸化チタンとの併用で性能向上が可能かもしれない。コストは別
- (2) 国プロ機の制御ソフトはデンソー(家庭用空調部門)が担当しているが、対応能力に問題有。

4. 一次伝面型熱交換器

- (1) 溶接機の補修費用ねん出ができないとのことだが、その影響は?
 - a. ヤンマーに供与する製品は、他の溶接手法で対応する予定。
 - b. 社内試験・評価用サンプルができないという問題がある。
 - c. 溶接機は NEDO の資産管理下にあり、開発試験目的での利用は問題ない。
- (2) コストダウンタイプのヤンマーの要求納期はあるのか?
 - a. 特に指示されていない。(現在先方にて取り合いを確認中であり、その回答待ちである。)
 - b. コストダウンタイプでは伝熱性能を落とす代わりに圧損を改善しており、HCCI エンジンに取り付けての特性比較を予定。

(3) 過給器をつけないで耐久試験を実施しているがそれで良いのか？

- a. HCCI エンジン単体の耐久試験として、過給器とは切り離して耐久実証するとのヤンマーの考え方。

5. 複合材料実用化チーム

(1) HTCC

- a. ロー付けサンプルの試験状況を報告のこと。
- b. アドバンテストでの打ち合わせ結果に基づき、別途打ち合わせを計画すること。
- c. アドバンテスト、住友電工等への売り込みだけでなく当社マイクロへの売り込みも必要ではないか？
=>MT には既に宣伝を兼ねて情報交換を行った。結果、現状の HTCC では品質的には不完成であることが判明。今後の要素試験に反映し、より習熟度を上げる必要がある。

(2) 潜水艦複合材プロペラ

- a. MHI へも見積もり提出に対し反応あり。SPP 見積もりは高いとの評価。
=> SPP の防衛省レートを適用しており、今後の価格交渉で対応する必要がある。

(3) 脚材料関連

- a. 特になし。

(4) 経産省プロジェクト(TASC)

- a. つくばの研究開発体制について協議が必要。
4Q よりつくばと大阪産総研の 2 箇所体制構築のため。
- b. 片桐 M が 4Q よりつくば駐在になる体制か？確認要。

6. 材ラボ

(1) 航機部門コア技術強化コラボレーション活動:メッキ WG 活動

- a. マスキング剤の調査試験では従来品(ターコ)に代わる有望なものも数アイテム見出されてきた。引き続き評価を継続。

7. 知財・技術管理

- (1) MT の京大入札の件は、異議申し立てするも決定翻らず。
- (2) 11/24 特許庁の方が航機降着装置製造工場を見学実施した。

8. H23 年度研究計画・販売計画、中期計画の件

- (1) 年明け早々に H23 年度研究計画ならびに販売計画の立案を各 G 長に依頼することになる。各 G 長は事前にこれらの計画を想定しておくこと。
=> 1/21(金)の部門会議にて第 1 案を説明することになる。
- (2) 3 月以降に中期計画を立案することとなる。

9. その他

- (1) 参加登録費用および出張旅費抑制の観点からはセミナー参加は今後停止すること。

次回 1 月度の部内会議担当は上森次長にお願いします。ファイル名は“部内会議 2011.1.11.doc”です。章番号等は全て修正をおこなっております。

以上.